

## 南部アフリカ 柑橘類の輸出は地域内の需要と貿易上の課題で減少

[FreshPlaza 2024年11月14日](#)

2024年の輸出シーズンに、南部アフリカの柑橘類生産者は、世界市場に出荷する1億6,450万箱(15kg/箱(以下同じ))を梱包した。これは昨年より60万箱少ないが、生産者が直面した実に特異的な厳しい状況を見ると、このわずかな減少で済んだことは依然としてこのセクターとしての力強い実績である。

いくつかの予期せぬ要因により、南部アフリカ柑橘類生産者協会(CGA)は、年間を通じて繰り返し輸出見通しを調整することを余儀なくされた。当初の輸出見込みは1億8,170万箱であった。最終的な数字はこれより9%少ない。

輸出量に影響を与えた最も顕著な要因の1つは、国内で加工するオレンジに高い価格が提示されたことであった。CGAのビジネス情報・データマネージャーであるプレシャス・クノタ氏は、「果汁業界の情報筋は、2023年シーズンと比較して、搾汁施設で処理されたオレンジの量が60~80%大幅に増加したと報告している。これはオレンジ約600万箱に当たると推定される」と述べた。

### 2024年の最終的な梱包数量

- 今年は1,430万箱のグレープフルーツが輸出用に梱包された。これは2023年シーズンよりも30万箱少なく、2024年4月の当初の見通しより14%少ない。
- 4,160万箱のマンダリンが梱包され、前シーズンに比べて360万箱増加した。ただし、当初の見通しよりは3%少ない。
- レモンは前シーズン及び当初見通しの両方と比較して減少を示した。2024年には3,470万箱のレモンが梱包され、当初の推定値より9%少なく、2023年に比べて110万箱減少した。
- 輸出用に梱包されたネーブルオレンジは、2023年と比較して40万箱の増加を示した。今年は2,510万箱のネーブルが梱包され、当初の見通しから2%減少した。
- 今年は合計4,870万箱のバレンシアオレンジが梱包された。これは2023年シーズンよりも470万箱少なく、当初の見通しに対し16%も大幅に不足していることが注目される。

港湾の効率は、昨シーズン中、柑橘類業界にとって深刻な懸念事項であった。柑橘類の輸出量が予想を下回ったため、港湾のピーク時の取扱量は大幅に減少し、コンテナターミナルへの圧力が緩和された。しかし、これは稼働状況の良くない港湾への圧力が猶予されたに過ぎず、それが長続きしないことをすべての状況が示している。今後数シーズンで出荷量は増加し、もし港湾の状態が改善されず、貨物を処理できなければ、柑橘類の輸出と経済全体に大きな打撃となるだろう。

また、欧州連合(EU)のカンキツ黒星病(CBS)とフォールスコドリグモス(FCM)に対する非科学的で不必要に制限的な貿易措置が、引き続き輸出抑制効果をもたらしたことにも留意する必要がある。これらの措置は、国内の生産者にとって合計37億ランド(約320億円)の機会費用に相当する。世界貿易機関(WTO)におけるこれらの措置に対する南アフリカの歴史的な訴訟は進展しており、12月中旬に紛争プロセスの次の段階に入る予定である。

訳注: 南部アフリカ柑橘類生産者協会(The Citrus Growers Association of Southern Africa)は、南アフリカ共和国のほかジンバブエ、エスワティニを含む南部アフリカ地域の柑橘類生産者を代表する組織です。なお、南アフリカ柑橘類生産者協会(The Citrus Growers Association of South Africa)は、南アフリカ共和国の柑橘類生産者を代表する団体です。